

多種多様な品目・荷姿の商品配送を効率化 配送プロセスのデータを荷主様とも共有・検討



大阪運輸倉庫株式会社 様

導入時期：2021年3月
導入地域：関西

課題

物流の2024年問題を控えて、DX化でさらなる業務の効率化を実現する必要があった。また、荷主様との信頼関係醸成のため、配送業務の実態を正確に把握する必要があった

解決策

荷主様のシステムと配送見える化ソリューションをつなぎ、積み込みから配送、納品までを商品単位でステータス管理することを実現

“配送担当者の作業と、後方の管理業務を効率化し、配送品質の向上につながりました。”

大阪運輸倉庫株式会社
執行役員
物流DX・ソリューション担当役員
営業開発室
井出 宜隆 様

※所属は納入時のものです。

背景

強く求められていた商品の配送プロセスの把握とデータ化

関西を地盤とする総合物流企業の大阪運輸倉庫株式会社様は、大手酒類卸売業者様の関西における小売店舗への配送業務を、長年にわたり請け負われています。配送先はドラッグストアや小売店、飲食店とさまざま。1台のトラックでお届けするのは和洋酒の高級銘柄1本から、ビールのケースや樽詰めなど、非常に多岐にわたります。これまでも人員体制の改善やDX化に取り組むことで、効率的な人員配置や効率配車を実現されてきました。しかし、積み込みや配送業務の効率化は常に課題であり、配送業務の実態を正確に把握し、荷主様との情報共有や連携の強化を図っていくため、個別の商品を追跡でき、ドライバー作業の可視化が可能な配送管理システムが必要だと考えられていました。

導入した理由

配送業務の実態把握から分析に必要な機能をフルに搭載

導入にあたっては、複数のパッケージシステムを検討。しかし、配送トラックの動態管理に加えて荷物単位までの管理が可能なものは、見つかりそうにありませんでした。そうした中、注目したのがパナソニックの配送見える化ソリューションでした。同システムは、バーコードリーダーを搭載したハンドヘルド端末で積み込み作業の時間短縮が図れる上に、配送トラックの位置情報や配送先での作業時間、完了時間などの作業進捗状況をリアルタイムで把握することができます。さらに、荷主様の商品管理システムとの連携をパナソニック側できめ細かく対応いただけたことも、初めて導入するシステムを運用していく上で、大きな信頼と安心につながりました。

お客様の紹介

1940年(昭和15年)に設立された大阪運輸倉庫株式会社様は、関西を地盤とする総合物流企業として、多種多様な車両による貨物輸送網と流通保管拠点を有し、さまざまな荷主様からの要望に応えられています。近年は、物流のDX化にも積極的に取り組み、安全・安心・確実な物流サービスを推し進められています。

- 所在地：大阪府大阪市旭区赤川1-11-8
- URL: <https://ousgrp.co.jp/>



▲ 大阪運輸倉庫株式会社様 (本社)

酒類業界向け ラストワンマイル配送管理ソリューション



▲ 関西地方の小売店や飲食店に向けた約1万種の酒類商品を常時貯蔵



▲ トラックバースに、ルートごとにピックアップされたさまざまな形状・量の酒類商品が並ぶ



▲ 商品に付けられているバーコードをハンドヘルド端末で瞬時にスキャン。商品の検品作業は格段に早まった



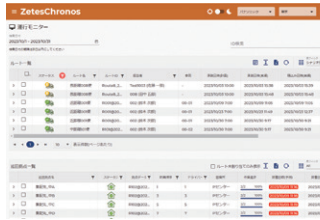
▲ 商品ごとに異なるバーコード位置も斜め角度のバーコードリーダーで、テンがよく連続して読み取れる



▲ 積み込みが完了。検品作業が迅速化されたことで、配送出発時間も前倒しが可能に



▲ 事務所内のシステム管理端末。配送状況をリアルタイムで確認することができる



▲ 刻一刻と変わる配送状況が映し出される統合管理画面 ※イメージです。

お客様の声

目に見える提案で、荷主様と物流全体の最適化を推進しています

私たち物流業には、つねにコスト削減が求められてきました。一方で、実際の配送ではスピード、短納期が求められています。これまでも荷主様とは、納品先からの発注が少量の場合は、まとめて納品するようにしてトラック台数を絞り込むなど、さまざまな取り組みをご提案してきました。ただ、届ける量、金額が実際の配送にかかる時間やコストに見合っているのか、弊社が実感していてもそれを数字で示すことができませんでした。この問題をパナソニックの配送見える化ソリューションが解決してくれました。

積み込みから配送先までの移動時間や、配送先での待機時間、作業時間もデータで可視化することが可能になりました。配送先ごとに作業の実態を把握することで、荷主様に対する最適受注数や納品方法のご提案、配車の改善などにつながっています。

物流の価値を高めていくという点では、私たちだけでなく荷主様にも実際のデータを知っていただき、ともに検討を進めていく体制がとても大切です。そのための提案ツールとして、配送見える化ソリューションはとても有効に活用できています。



大阪運輸倉庫株式会社
執行役員
物流DX・ソリューション担当役員
営業開発室
井出 宜隆 様

※所属は納入時のものです。

納入機器



物流・配送の現場を効率的に
配送見える化ソリューション



4.7型頑丈ハンドヘルド
タフブック FZ-N1

